



福岡県小郡市大新井1143-1
電話番号 0942-72-7321
FAX 0942-72-7322



発行人

こぐま福祉会 編集委員会

<http://www.koguma.ed.jp>

こぐま福祉会
理事長
大熊 猛

早いもので、「こぐま」は三十一年目を迎えました。その間、六十三万人以上の方にご利用いただき、また多くの方々にお世話になり、皆さんに育てていただきました。衷心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

その間、時間の経過だけではなく、さまざまな事が大きく変化しました。第一に、利用される子どもたちの変化です。それは、当初、脳性まひを主訴とする肢体不自由児や、自閉症と診断された乳幼児さんたちが主でしたが、近年では、肢体不自由児さんは20%以下に減少し、いわゆる「発達障害」といわれる子どもさんたちが年々多くなっています。こうした現象は、最近の医療の進展のおかげと、社会や生活環境の変化だと考えられます。一方では激減が、また一方では急増という現象です。この現実を皆さんはどのように考え、受け止められますか。これは世界中の文明国に、都会地に見られる現象なのです。

第二に、わが国の福祉制度もようや大きく変わっています。

私たちに一番身近な、「子ども・障害児(者)」「福祉の考え方や制度が、国連の「子ども年」や「障害者年」から三十年以上経過して、今ようやく少しだけ変化しようとしています。

「こぐま」は「国際障害者年」を期に設立し、当初から人間の子どもの発達を総合的に支援する事を目的に設立しました。だから日本で始めて、「福祉・医療・教育」を一本の柱にして、「あらゆる発達課題に対応する施設」の必要性を大きな声で、長年、国や社会に訴えてきました。それが今(昨年末)、国会を通過し、この四月から「障害種別」が無くなり「児童発達支援センター」としてスタートします。まだまだ、いろんな課題が山積していますが、私たちの願いの一つが社会に通じたと考えています。これを機に、地域のいろんな資源(行政や機関施設など)との連携や支援の幅が広がる事になり、一人ひとりへの支援の内容も充実するものと期待しています。

第三に、三十年経過すると、当時の子どもたちは、もう、とつくに大人(成人)になっています。そして今、仕事の場、生活の場に多くの問題が生じています。これが今後の『こぐま』の大きな課題です。

七年前、「尾久保研修所——みんなの館——」を立ち上げ、障害者の雇用の場、生活の場を地域活性化と共を要しましたが、ようやく目が立つてきました。山の中ではあります

が、大自然豊かな中山間地、地域の人々は高齢化してますが、人情豊かで、「お茶・しいたけ」を主産業に強かに生きています。私たちは、この地域の方々に指導を頂きながら、お茶・しいたけ・野菜などの生産、そしてこの度、オリーブ栽培を計画しています。九州を百万本の「オリーブアイランド」にしようと、地域の方々と協働で始める事にしました。幼木から育て五年、十年計画です。国や民間の財団などからの支援を受けながら、新しいスタイルの事業所としてそれぞれが確実に自立できるようになりたいと願っています。

最後に、三〇年・五〇年先の『こぐま』に向けて、新しいスタートの時期だと考えています。東日本震災、世界的不況は社会の全ての分野で、大きな転換期となると考えられます。福祉関係も同じです。これまでのような施設福祉が主ではなく、一般生活者の全ての分野で考えなければならぬ、すなわち、これまでの「狭義的福祉」ではなく、今後はもっと広い意味の「広義的福祉」として、「国民全てが望むこと、必要とすること」を考えなければならぬ。一事業的ではなく、地域ぐるみの独自の新しいスタイルで、しかもその「参加型・協働型」である事が必要になると考えます。この方向で準備をしていく事を考えます。これからも皆さんのご協力を切にお願い申し上げます。

一歩一歩

三月十四日(水)「ゆう」の遠足で城山公園まで行ってきました。天気にも恵まれ、春の風が心地良く流れる中、みんな自分のペースで一歩一歩、前に進みました。歩き終わった子ども達の姿はいつも以上に強くたくましく感じました。公園ではお友達と一緒に遊具であそんだり、クラス対抗おんぶリレーをしたり、思いっきり身体を動かして遊びました。

お父さん、お母さんと過ごした一日は、おひさまに負けないくらいキラキラの笑顔でいっぱいでした。

(児童指導員 池邊)



合同余暇活動しました!

「生活介護事業所愛らんど」「就労移行支援事業所 Work Step」が合同で余暇活動に行ってきました。一緒に活動することは少ないのですが、スポーツ大会や成人式などで交流したこともあって初めから自然に溶け合っていました。

○カラオケコース

一番手は入室後三秒の早業! 女性中心の部屋はしんみり癒し系、男性中心の部屋はバリバリノリノリ系。計画時に「長いかな?」と思案された時間も「えっ? もう終わりの時間!」

○ドライブコース

雨天のために予定変更して出発。最初は青少年科学館: 器械仕掛けの施設に夢中夢中! 流石は現代っ子です。続いてはゆめタウン: フードコートで好きなメニューに舌鼓して、お土産購入しました。

新年度も自立に向けた自主活動として、多くの経験と交流を目標に取り組んでいきます。

(就労支援員 鬼塚)



就学おめでとう!

三月二十八日(水) 春らしい日差し中、「こぐま学園・ゆう」の就学お祝い会が行われました。大きな拍手の中、就学児さんが入場。一人ひとり名前を呼ばれ、ステージ上で療育証書を受け取るその姿は、普段にも増してたくましく見えました。四月から新一年生になる十五人。別々の小学校に行くことになりましたが、それぞれの場所で自分らしく輝けますように...。

(保育士 梅木)



受付からのお願い

新年度に伴い、健康保険証、医療証、受給者証の確認のため、窓口にて提出下さいませようお願い致します。なお、保険証につきましては、月に一回の提出が義務付けられています。

(受付 赤司)

日中一時支援事業から

いつも日中一時支援事業をご利用いただき、ありがとうございます。平成二十四年度も、日中一時支援事業を継続する事となりました。すでに当園との契約がお済の方で、平成二十四年度も継続して日中一時ご利用希望の方は、各市町村発行の受給者証の有効期限に関わらず、平成二十四年度の契約更新の手続きをお願い致します。また、新規ご利用希望の方につきましては、契約が必要となります。

退職者紹介

今までありがとうございました。

- 児童指導員 池邊真理
- 生活支援員 上田昌代
- 生活支援員 真野令美
- 運転手 大谷一彰

三十周年記念式典を

行います!

(日時) 平成二十四年五月十二日(土)
(場所) こぐま福祉会
たくさんの方と、こぐまの三十回目の誕生日をお祝いしたいと思います。
皆さんのお越しをお待ちしております。
(実行委員 福田)

行事予定

三日(火) 始園式



こぐまのスタッフを
ご紹介します。
今年度もよろしく
お願い致します！



集まれ！！こぐまスタッフ



平成24年度 新入職員



KOGUMA
30th Anniversary

